

豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2025 年 8 月 22 日 (金)	危機管理部 危機管理課	0796-23-1111 (内線 2191)	松岡久雄 (課長)

(件名)

2025 年度 市民総参加訓練 (地震・津波想定) の実施

(内容)

市では、2015 年度から 8 月の最終日曜日を統一訓練日と位置づけ、市民総参加訓練を実施しています。

災害想定を地震と風水害で隔年実施しており、今年度は、地震・津波災害を想定し「地震から命を守る」ための取組みとして「事前対策訓練」「安全確保行動訓練」「火災防止対策訓練」および「安否確認訓練」を実施します。

また、港地区、竹野地区の津波避難対象区において「津波避難訓練」を実施します。

1 訓練日時

8 月 31 日 (日) 午前 8 時～9 時頃

(※防災行政無線放送スケジュールは別紙 1 参照)

2 訓練対象

全市民

3 訓練内容 (※別紙 2 参照)

- (1) 事前対策訓練
- (2) 安全確保行動訓練
- (3) 火災防止対策訓練
- (4) 安否確認訓練 (※都合により実施しない区もあり)
- (5) 津波避難訓練 (※港、竹野地区の津波避難対象区)

4 その他の訓練

屋内津波避難施設の鍵解錠訓練 (※別紙 3 参照)

5 訓練を中止する場合

午前 6 時 30 分の時点で、次のいずれかに該当する場合

- (1) 「大雨警報」または「洪水警報」が発表されている場合
- (2) 「大雨注意報」または「洪水注意報」が発表されており、その後、
気象状況が警報レベルになることが予測される場合

※午前 7 時に防災行政無線で市内全域へ訓練中止の放送を行います。

《問合せ》危機管理部危機管理課 (担当：坂本)
TEL 0796-23-1111 (内線：2193)



2025年度 市民総参加訓練当日の防災行政無線放送文（地震・津波想定）

放送時間	放送内容	放送文	市民の皆さんの行動
7：30	訓練実施告知 (屋内・屋外一斉)	こちらは、豊岡市役所です。 この後、8時から豊岡市全域で、地震・津波災害を想定した「市民総参加訓練」を実施します。 市民の皆さんは、「いつとき避難場所」や「津波避難場所」を確認し、防災リュックの準備をしてください。また、電気ブレーカーの落とし方やガスの元栓の閉め方も確認してください。 訓練の実施に伴い、各ご家庭の防災行政無線戸別受信機と屋外拡声器から「地震発生」を知らせる訓練放送を行います。 訓練放送が流れましたら、各ご家庭で、地震の揺れに伴う落下物から頭や身体を守ることを想定し、まず姿勢を低くし、机の下にもぐるなど命を守る安全確保行動をとってください。 その後、「揺れが収まったことを知らせる訓練放送」が流れますので、各区・町内会で実施する訓練に参加される皆さんは、区・町内会の訓練計画に従い、隣近所での安否確認、その後の訓練への参加をお願いします。【繰り返し】	訓練の準備をしてください。 《地震》 防災リュックの準備、電気ブレーカーの落とし方確認、いつとき避難場所の確認 《津波》 津波避難場所の確認

放送時間	放送内容	放送文	市民の皆さんの行動
8 : 00	【地震】 訓練放送 震度 6 強地震発生 (屋内・屋外一斉)	こちらは、防災豊岡市です。ただ今から訓練放送を行います。 「(サイレン音) 緊急地震速報です。強い揺れに注意してください。緊急地震速報です。強い揺れに注意してください。これは訓練放送です。」 × 3 回 こちらは、防災豊岡市です。これで訓練放送を終わります。	各自の自宅等において「安全確保行動訓練」を行ってください。 ①まず体勢を低くし、 ②落下物等から頭を守りつつ机等の下に避難し、 ③1 分間はじっと動かない。
8 : 03頃～	【地震】 揺れが収まったことを知らせる訓練放送 (屋内・屋外一斉)	豊岡市役所から訓練放送です。 揺れが収まりました。避難が必要な場合は、直ちに安全な場所へ避難してください。 <u>なお、実際の災害時には、このような放送はありません。</u> 【繰り返し】	家族の安全を確認した後、電気ブレーカーを落としガスの元栓を閉め、あらかじめ区や隣保等で取り決めている「いつとき避難場所（近くの空き地など）」への避難を開始してください。 隣保内に「いつとき避難場所」が確保できない場合は、まずは家の外に出て、安全を確保してください。 例えば、玄関先に既に避難したことを示す「ハンカチ」などをつり下げれば、円滑に安否を確認できます。あらかじめ、区（町内会）内でルールを決めておくことが大切です。
8 : 03頃 ～8 : 30頃	—	—	① 隣保長さん等により、「いつとき避難場所」において、安否確認を行ってください。 ②集合されていない方のお宅を回って、実際に安否を確認してください。 ② 隣保長さん等は、安否を確認した人数（「いつとき避難場所」に集合された人数＋お宅で安否確認した人数）を、区長さんに報告してください。

放送時間	放送内容	放送文	市民の皆さんの行動
8：10頃～	【津波】 大津波警報による避難指示の訓練放送 (屋内・屋外一斉) ※津波避難指示対象地区のうち、港地区、竹野地区に訓練放送を行います。 ※城崎地域への放送は行いません。 【港地区】 小島区、瀬戸区、津居山区、気比区、田結区 【竹野地区】 東町区、中町区、馬場町区、上町区、下町区、西町区、切濱区、濱須井区、宇日区、田久日区	こちらは豊岡市役所です。ただ今から、訓練放送を行います。 ～サイレン吹鳴音～ 緊急放送、緊急放送、避難指示発令、避難指示発令。 こちらは豊岡市災害対策本部です。 兵庫県北部に大津波警報（津波警報）が発表。 港地区、竹野地区の沿岸部に避難指示を発令する。 沿岸部、川沿いにおられる方は、今すぐ、高台などに避難すること。 【繰り返し】 なお、実際の災害発生時は、屋内津波避難施設に設置した鍵保管庫のダイヤル番号を放送します。 これで、訓練放送を終わります。	「津波避難場所」への避難を開始 ↓ その後、「津波避難場所」において安否確認
8：20頃～	—	—	「屋内津波避難施設の鍵解錠訓練」（3回実施） ①8：20頃～ ②8：35頃～ ③8：50頃～

			※訓練対象地区 【港地区】 小島区、瀬戸区、津居山区、気比区 【竹野地区】 東町区、中町区、馬場町区、上町区、下町区
8：30頃～	訓練終了のお知らせ (屋内・屋外一斉) ※「<u>屋内津波避難施設の 鍵解錠訓練</u>」対象地区 は、9:05項に放送	こちらは、豊岡市役所です。 これで、市民総参加訓練を終わります。この後、各区・町内会で独自の訓練を実施される場合は、区・町内会の実施計画に従い、訓練に参加してください。 【繰り返し】	
9：05頃～	※「<u>屋内津波避難施設の 鍵解錠訓練</u>」対象地区の み放送 【港地区】 小島区、瀬戸区、津居山区、気比区 【竹野地区】 東町区、中町区、馬場町区、上町区、下町区	こちらは、豊岡市役所です。 これで、市民総参加訓練を終わります。この後、各区・町内会で独自の訓練を実施される場合は、区・町内会の実施計画に従い、訓練に参加してください。 【繰り返し】	

* 放送内容の一部が変更となる場合がございますが、ご了承ください。

2025年度 市民総参加訓練(地震資料)

地震から命を守るには、家屋の耐震化、家具の転倒防止対策、防災リュック(非常時持ち出し袋)の準備などの、事前の備えが重要です。

地震が発生したら、まずは自分と家族の安全確保が必要で、次に行うのが火災予防や隣近所の安否確認です。速やかな行動が多くの命を救います。

日時

2025年8月31日(日)午前8時～

場所

各世帯、各区(町内会)において実施

対象

全市民

内容

① 事前対策訓練(訓練1)

家屋の耐震化、家具の転倒防止対策、防災リュック準備、電気ブレーカーの落とし方確認、いっとき避難場所確認など

② 安全確保行動訓練(訓練2)

③ 火災防止対策訓練(訓練3)

④ 安否確認訓練(訓練4)

訓練当日までの準備

(1) 「いつとき避難場所」の申し合わせ

まず、各区で地震発生後に集合する「いつとき避難場所」を決めましょう。

「いつとき避難場所」とは、お互いの安否確認や被害情報を確認するとともに、一緒に指定緊急避難場所等に避難するために、地域住民が集まる場所です。

【いつとき避難場所の目安】

- ① 隣保程度(10軒～20軒)の単位で集まれる身近な場所
- ② 瓦やブロック塀など、落下物や倒壊物の影響を受けない場所
- ③ 基本的に屋外

(2) 安否情報の確認方法の取決め

地震発生後、必ずしも全ての住民がいつとき避難場所に集まれる訳ではありません。しかし、集合しない(できない)住民を一軒一軒訪ねて安否確認を行うことは時間的にロスを伴います。人的被害がない場合は、玄関先にタオルをぶら下げるなどのその地区のルールを取決めておくと、速やかに安否を確認することができます。

訓練 1 地震で「死なない」ために、事前の備えを

○「地震」によって人が亡くなるのではなく
「家の倒壊」によって亡くなる



○耐震診断の実施と耐震改修工事の実施

まずは簡易耐震診断を受けましょう

1981(昭和56)年5月31日以前着工の戸建住宅、共同住宅(アパート等)、賃貸住宅および店舗等併用住宅を対象に無料で簡易耐震診断を実施しています。

診断費用
無料



耐震診断の結果「危険」「やや危険」と判断されたら…

耐震診断の結果、自宅が「危険」「やや危険」と判断されたら、「住まいの耐震化」を検討してください。耐震改修工事とリフォーム工事に係る工事費用の一部をセットで最大170万円補助します。

家全体の
耐震改修工事

部分的な耐震改修工事

高額な耐震改修
工事までは困難



全体補強型
最大140万円補助



部分補強型
最大50万円補助



居室等補強型
最大50万円補助



防災ベッド等設置
定額10万円補助



住宅耐震リフォーム工事費補助
最大30万円補助



※無料耐震診断や補助制度を活用するためには、条件がありますので、詳しくは市ホームページを確認していただくか、建築住宅課(☎21-9018)に問い合わせてください。



訓練 1 地震で「死なない」ために、事前の備えを

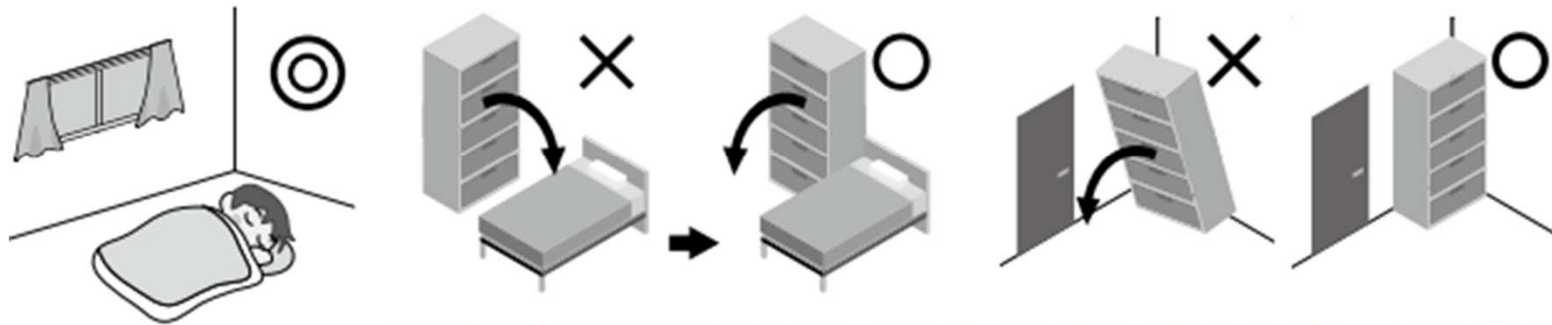
○耐震性が高い住宅に住んでいる人も

「家具が揺れで転倒しないように固定する」ことは必須



○家具の転倒防止対策

自宅の家具の転倒防止対策を実施してください。特に寝室の家具のレイアウト等について、次の対策を参考にして見直しましょう。また、家具の転倒を防ぐため「家具転倒防止器具」を活用しましょう。



寝る位置に家具が倒れてこないよう配置。また、背の高い家具は置かない
寝室に家具を置かない

家具が転倒したときに、出入口をふさがないように向きを変える

訓練 1 防災リュック（非常時持ち出し袋）の準備を

- ☐ 水
- ☐ 食品
(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、
乾パンなど：最低3日分の用意!)
- ☐ 防災用ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 衣類・下着
- ☐ レインウェア
- ☐ 紐なしのズック靴
- ☐ 懐中電灯(※手動充電式が便利)
- ☐ 携帯ラジオ(※手動充電式が便利)
- ☐ 予備電池・携帯充電器
- ☐ マッチ・ろうそく
- ☐ 救急用品
(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ ブランケット

- ☐ 軍手
- ☐ 洗面用具
- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉
- ☐ タオル
- ☐ ペン・ノート

感染症対策にも有効です!!

- ☐ マスク
- ☐ 手指消毒用アルコール
- ☐ 石けん・ハンドソープ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 体温計

一緒に持ち出そう!!

- ☐ 貴重品
(通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、
マイナンバーカードなど)

※リュックは、両手が空いた状態での避難が可能なため、子どもがいる場合も抱きかかえて非難することができるなど、より安全に避難することができます。

子供がいる家庭の備え

- | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| ☐ ミルク(キューブタイプ) | ☐ 子供用紙オムツ | ☐ 抱っこひも |
| ☐ 使い捨て哺乳瓶 | ☐ お尻ふき | ☐ 子供の靴 |
| ☐ 離乳食 | ☐ 携帯用お尻洗浄機 | |
| ☐ 携帯カトラリー | ☐ ネックライト | |

女性の備え

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 生理用品 | ☐ サニタリーショーツ | ☐ 防犯ブザー／ホイッスル |
| ☐ おりものシート | ☐ 中身の见えないごみ袋 | |

高齢者がいる家庭の備え

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 大人用紙パンツ | ☐ 介護食 | ☐ デリケートゾーンの洗浄剤 |
| ☐ 杖 | ☐ 入れ歯・洗浄剤 | ☐ 持病の薬 |
| ☐ 補聴器 | ☐ 吸水パッド | ☐ お薬手帳のコピー |

訓練 2 グラツと揺れたら、まず安全確保

防災行政無線の地震放送を合図に、各家庭において地震の揺れに伴う落下物や飛来物から、頭や身体を守る行動をとります。

普段から家の中で、どこが最も安全かを考えておくことが、いざという時の速やかな行動に繋がります。

- ①**まず低く** 上からの落下物を避けられる場所で低い姿勢をとります。
- ②**頭を守り** 落下物や飛来物から頭を守れるよう、机の下に避難したり腕で頭を守ります。
- ③**動かない** 1分間はじっと動かないでいます。



机が揺れで飛ばされないように、しっかり机の脚を持ち固定する

訓練3 火災を防ぐための対応を

① ブレーカーを落とす & コンセントからプラグを引き抜く

地震が起きたら、通電火災を防ぐため、安全が確保できるまでは、ブレーカーを落とし、コンセントからプラグを抜くなど、器具に電気を通さないようにしましょう。

② ガスの元栓を閉める



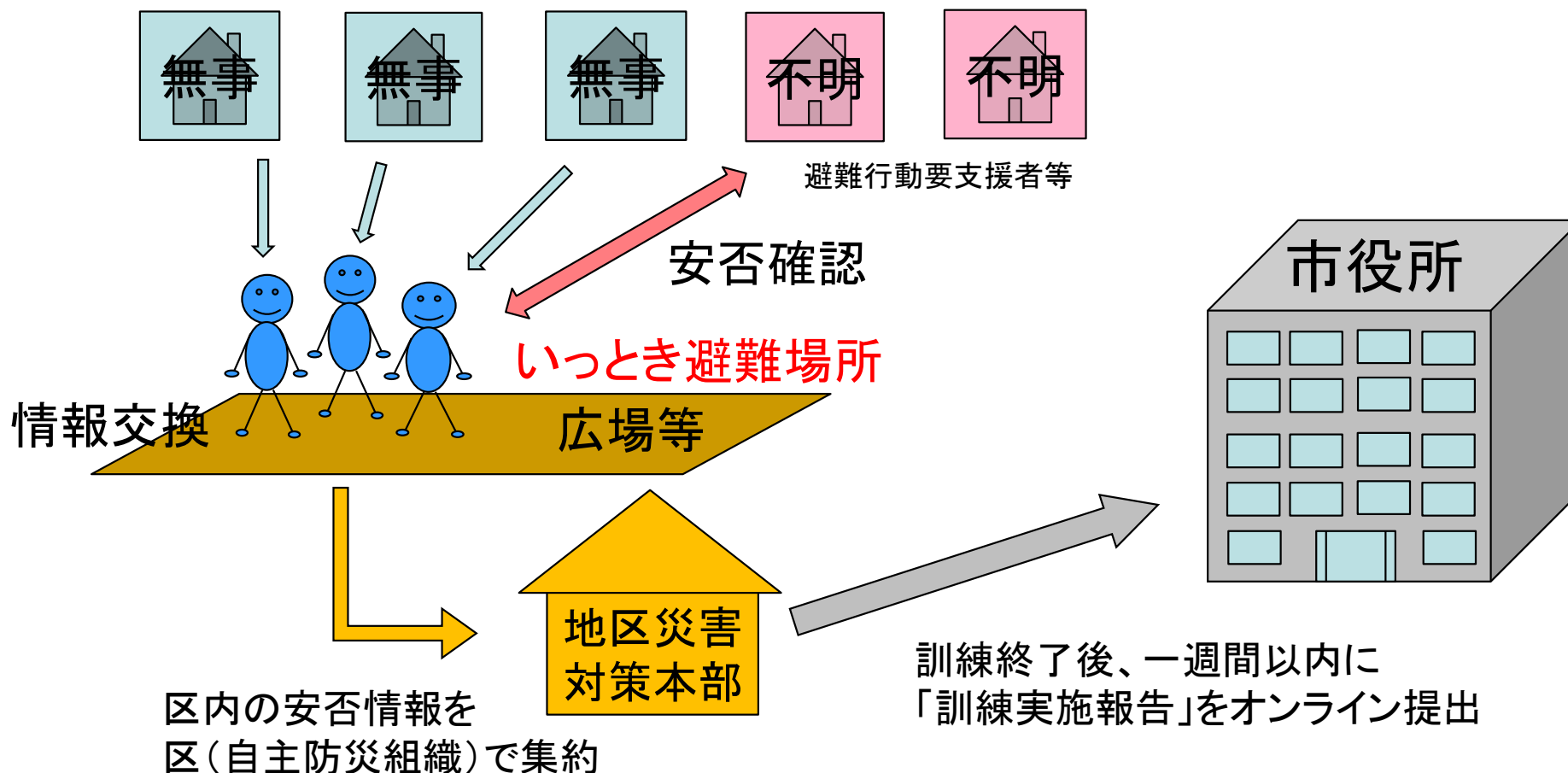
訓練4 揺れが収まったら隣近所の安否確認

揺れが治まり、本人・家族が無事であれば、事前に定めた「**いつとき避難場所(※)**」に集合して隣近所の情報交換を行い、不明者があれば安否確認を行います。

それらを区(自主防災組織)が集約し、訓練終了後一週間以内に市役所に「**訓練実施報告**」を提出します。

※地震が発生した場合に、近隣住民がお互いに安否確認するために一時的に集まる広場などの場所。区・町内会で指定。

(注) 風水害時での指定はありません。風水害時に集まることはかえって危険です。



2025年度市民総参加訓練 「屋内津波避難施設の鍵解錠訓練」 実施内容

1 目的

2025年1月、屋内津波避難施設にダイヤル付地震感知式鍵保管庫を設置しました。

大津波警報・津波警報が発表され、津波避難指示が発令された時は、この鍵保管庫内の鍵を使用して、屋内津波避難施設の高い場所への避難が必要となります。

鍵保管庫は、設置したその場所で震度5弱以上の揺れを感知した時、または4桁のダイヤル番号を合わせることで開けることができます。4桁のダイヤル番号は、津波避難指示の発令と同時に、防災行政無線放送、ひょうご防災ネットで公表します。

本訓練は、津波避難指示発令時に、市民のだれもが迅速に鍵保管庫と屋内津波避難施設を解錠し、屋内津波避難施設に避難できるようにすることを目的とします。

2 訓練日時

2025年8月31日(日) 午前8時20分頃～ ※同様の内容を3回実施

3 訓練対象地区

港地区：小島、瀬戸、津居山、気比

竹野地区：上町、中町、東町、馬場町、下町

4 訓練内容

①ダイヤル付地震感知式鍵保管庫の解錠方法説明

⇒解錠方法、ダイヤル番号の周知方法の説明 ※2025年1月24日隣保回覧文書の再配布

②屋内津波避難施設の鍵解錠実演

⇒ダイヤル付地震感知式鍵保管庫から取り出した鍵を使って解錠実演

5 訓練実施施設

施設名	集合場所（鍵保管庫設置場所）	担当部署
旧港西小学校	玄関横	城崎振興局
港中学校	職員玄関横	城崎振興局
港小学校	職員玄関横	本庁 危機管理課
竹野学園（前期課程）	職員玄関横	竹野振興局

※津波避難は徒歩が原則であること及び施設管理上により、
当日車でのお越しはご遠慮ください。

6 タイムスケジュール（地震訓練＋津波訓練）

想定	目安時間	防災無線放送	市民のみなさんの行動
	7：30	訓練実施告知	訓練準備
【地震】	8：00	地震発生の訓練放送 (屋内・屋外市内一斉)	安全確保行動（シェイクアウト）
【地震】	8：03頃～	揺れが収まったことを知らせる訓練放送 (屋内・屋外市内一斉)	「いつとき避難場所」への避難を開始
【地震】	8：03頃～ 8：10頃	—	「いつとき避難場所」において安否確認
【津波】	8：10頃～	大津波警報による避難指示の訓練放送 ※津波避難対象地区のみ放送	「津波避難場所」への避難を開始
【津波】	8：20頃～	—	「津波避難場所」において安否確認
【津波】	8：20頃～	—	屋内津波避難施設の鍵解錠訓練（3回実施） ①8：20頃～ ②8：35頃～ ③8：50頃～